

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		百貨店（営業担当）	・8月の閉店に向けて、6～8月は前年比150～200%の売上を見込んでいる。
		衣料品専門店（店舗運営）	・店舗の出退店を予定しているため、販売促進による売上増が期待できる。
		家電量販店（店長）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・各種キャッシュレス対応のキャンペーンが盛んになり、消費意欲は増加していくと考える。
		乗用車販売店（従業員）	・イベント等で集客を見込んでいる。
		住関連専門店（役員）	・例年5～7月は閑散期に入り厳しい状況が続く期間ではあるが、今年に関しては消費税の引上げという特殊与件があり、耐久消費財では駆け込み需要が見込まれる。
		高級レストラン（スタッフ）	・10連休前後の団体旅行が例年より15%ほど減少していた分、6～7月の受注は好調に推移している。
		通信会社（役員）	・東京オリンピックの入場チケットの受付開始が話題に出ている。中継映像が4K品質で行われるなどの話題と合わせて関心が高まり、テレビ契約の獲得増に結び付くことを期待している。
		通信会社（役員）	・新規契約数がここ数か月好調に推移しており、更に営業スタッフの増員により、契約増が期待できる。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げの影響もあり、今月同様引き続き客が活発化すると考えられる。
		商店街（代表者）	・先行き不透明である。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・新築や改築によるじゅう器入れ替えの商談はあるが、要求される価格が厳しく適正な利益確保が難しくなっている。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・現状と大きく変わる要素が何もない。
		百貨店（売場主任）	・消費税の引上げ前の7～9月は、富裕層を中心に高級輸入時計や絵画などの企画を例年以上に投入する予定にしており、高額商品は好調に推移していくと見込んでいる。
		百貨店（販売促進担当）	・消費税の引上げが間近に迫っているが、現状では駆け込み需要などの特別な動きはみられない。中国経済減速での景気判断引下げの影響もあり、客の買物行動は相変わらず慎重である。
		スーパー（店長）	・消費税の引上げ前には一時的な需要増を見込んでいるが、反動の方が怖い。
		スーパー（店長）	・今後大きく伸びる要素が特にない。前年に対し伸びている来客数を維持したい。
		スーパー（総務担当）	・人手不足が続いている状況は変わらず、消費税の引上げ前の9月は駆け込み需要が望めるものの、景気は横ばいとみている。
		スーパー（統括）	・消費税の引上げに向けて消費行動がより二極化すると考える。
		コンビニ（経営者）	・販売量、単価共に例年並みである。
	衣料品専門店（経営者）	・客の購買意欲は低く、生活防衛意識が強いことが感じられる。	
	乗用車販売店（経営者）	・地方都市では4月の昇給も余り多くなく、可処分所得は増えていない状況が続いていると考えるので変わらない。	
	自動車備品販売店（役員）	・販売は中古車、新車共に順調に推移しているが、用品販売は依然として単価も下がっている。あおり運転問題でドライブレコーダーのみ問合せがあり、上位機種販売につながっている状況だが、全体的には厳しい状況を見込んでいる。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・とにかく景気が良くなるという見込みが全くない。今のままの状態が進んでいくとみている。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・店舗入れ替えが発生しているため、一概にいえない状況ではあるが、来店客の買い控え等は発生していないため、大きく来客数が変わることがなければ、これまでどおり推移すると考える。	
	スナック（経営者）	・国内外の情勢や株の下落、選挙などが噂されるなか、光がみえてこない。	
	観光型旅館（経営者）	・6月以降はインパウンドの団体は少なくなるが、大浴場を新規に設備投資したことによる集客が見込める。	

都市型ホテル（役員）	・宿泊部門はインバウンドが堅調に推移している。レストラン部門は定休日を設けたことにより若干減少している。宴会部門は例年と同様の傾向にあり、全館での景気動向は変わらないと考える。
旅行代理店（所長）	・来年の東京オリンピックを控え、年内は大きなイベントもなく大きな動きは見込めない。
タクシー運転手	・観光客は今後順調に増えるの見込んでいる。これから野外でのイベントもあり、このままの状態でも推移するとみている。
タクシー運転手	・6月の観光の予約が、予定よりもやや少なめになっている。
通信会社（営業担当）	・前年と比較しても販売量に大きな変化はみられない。
競輪場（職員）	・販売単価や客の様子に大きな変化は見受けられない。
美容室（経営者）	・国際的な不安定要素はあるが、消費税の引上げまでは、国内の消費はこのまま維持される雰囲気である。
住宅販売会社（従業員）	・熟慮して契約を延ばしていたユーザーも、消費税の引上げ前に工事をしたいとリフォーム受注の予定が増えている。9月完工までの受注は、まだまだ増えるの見込んでいるので、工事体制をしっかりと確保し、受注に力を入れていきたい。
住宅販売会社（従業員）	・リフォームを含めた受注の伸びは望めるが、職人を含めた人手不足のため業務に支障が出ている。
住宅販売会社（営業）	・改善につながる要因が見当たらない。
商店街（代表者）	・金を使わないという雰囲気が強く、これからも消費が上向き気配はしない。
一般小売店〔精肉〕（店長）	・ゴールデンウィークは順調に推移し前年より良かったのだが、それ以降の来客数や商品の購買点数が余り良くなく、10連休での使い過ぎを、それ以降で引き締めている感じがしている。これがボーナス支給の頃まで続くのではないかとみている。
百貨店（販売担当）	・衣料品や雑貨関連は、消費税の引上げを控えてまとめ買いや先行購入も期待したいが、現状の状況を見ると買わない、若しくは低価格の物で済んでしまう感じがする。価格にも敏感で、定価品の購入はギフトなどで、自家需要品は特に男性物に関しては、お買得品に傾注している。今まで以上に吟味しながら、セール品の購入が増加している。
スーパー（総務担当）	・各種加工食品の価格が上昇している。さらに、トイレトーパー等が2割近く値上がりしている。
スーパー（店舗管理）	・消費税の引上げもあり、駆け込み需要が大物買いになると見込まれ、その反動で食品への節約が発生するのではないかと考える。
コンビニ（店舗管理）	・5月の好材料は一過性のものである。年金システムにも不安があり、明るい未来がみえない感じが増すばかりである。
乗用車販売店（役員）	・中国経済の減速や通商問題の動向など、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響が懸念される。
一般レストラン（店長）	・米中関係など外的要因による景気の雰囲気の悪化が不安である。また、店舗前の橋の架け替え工事で観光客の流れが分断され、それによる影響は想定できない。
一般レストラン（統括）	・5月のゴールデンウィークの大型10連休と比較すると、今後の動向としては、参議院選挙などの結果次第だが、10月の消費税の引上げに向けて、徐々に消費者の財布のひもが固くなり、消費が減る傾向になると考える。その場合、外食の頻度を減らす、単価を下げる傾向になるとみている。
都市型ホテル（スタッフ）	・いよいよ消費税の引上げが近づいてきているが、駆け込み需要の気配はない。消費税が上がって個人消費が良くなるとは考えられない。
通信会社（職員）	・これまで以上に特典キャンペーンへの反応が鈍い。
テーマパーク（役員）	・前年同月比でみると、先行の予約状況が国内の団体客を中心に鈍く、全体としてやや悪くなるとみている。
その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・商圏内の新しい住宅地に、24時間対応トレーニングジムがまたオープンする予定である。
× コンビニ（店長）	・現状の悪化は、当店というより地域の店舗全体にイえる話である。しかし、当店においてだけでいえば、レベルの低下は最小限にとどめられていると考えている。本部の情報によると、地域全体の売上が前年を割り、苦戦していることから、大きな方針転換がなければ売上を含むコンビニ業界全体の景気は下向きものとみている。

	x	観光型旅館（スタッフ）	・ 5月以降の予約状況は前年との比較で6月の93%を除き、85～70%である。今後は企画募集や体験型商品等で集客を図る。	
	x	通信会社（営業担当）	・ 来客数はある程度見込めるが、端末代金が高くなるため客の機種購入サイクルは伸びると考えられることから、販売数が落ち込み全体的に利益減となる見込みである。	
企業 動向 関連 (北陸)		-	-	
		建設業（経営者）	・ 政府が国土強じん化や防災、減災のために予算をつけ、地元においても今年度の公共事業予算が増えたので、その執行に拍車がかかる。	
		繊維工業（経営者）	・ 今騒がれている米中貿易摩擦が、前に進まない非常に難しい状況ではないかと考える。海外の動き1つだとみている。	
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・ 米中貿易摩擦や中東、朝鮮など海外情勢の不透明感、原油高による材料費や運送コストの上昇が懸念材料となりつつあるが、この上期前半までは消費税の引上げ前の駆け込み需要等プラス要因も継続し、当面は堅調に推移するものと考えられる。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ 米中貿易摩擦による影響は、足元の受注状況ではほとんど感じられない。状況次第では北米及び中国市場の景気後退等により、輸出量に影響が出てくる可能性がある。	
		精密機械器具製造業（役員）	・ 値上げや消費税の引上げの話があるなか、客により好不調のばらつきはあるものの、全体としてはこのまま、若しくは多少下がり勾配の気配を感じる。	
		通信業（営業）	・ 受注が安定している。	
		金融業（融資担当）	・ 米中貿易摩擦の影響は長期化が予想され、今まで好調を維持してきた取引先メーカーの売上にブレーキが掛かった状態も長引く可能性が出てきている。一方で、高額消費や観光関連消費を中心に、消費者の財布のひもはまだそれほど締まっていないとみている。	
		不動産業（経営者）	・ 特別多くの話があるわけではないが、法人関係の話も少しずつ出てきている。	
		司法書士	・ 事業用資金の融資でもほぼ借換え案件で、新規事業関連のものがない。	
		食料品製造業（経営企画）	・ 主たるコストアップ要因である原材料価格の上昇はこの先も続く。企業内努力だけでは到底カバーできない状況にあり、販売価格の引上げなくして良くなることはないと考えられる。	
		金属製品製造業（経営者）	・ 2～3か月先の分の受注状況から、やや悪くなるとみている。	
		一般機械器具製造業（総務担当）	・ 米中貿易摩擦など海外経済の先行きが不透明なので、設備投資は抑えられる傾向にある。	
		金融業（融資担当）	・ 消費税の引上げが迫り、家計をかなり引き締められている様子である。酒類も安い価格の品が中心で、高額商品の売行きが悪いとのことである。	
		税理士（所長）	・ 特に住宅関係では、消費税の引上げということで駆け込みがあるかと思っていたが、それほどではなかったという話である。3月には若干受注があったが、4月以降はさっぱりであるということである。一般家電販売店でも、個人の消費が非常に厳しいという話である。いろいろなものが値上がり傾向にあるという報道もされており、個人の財布のひもが固くなっているのではないかと考える。また、中国向けの設備投資を行う企業についても、3か月までしか予定が決まっていないということ、見通しの暗さを話す経営者が多い。	
		x	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・ 5月も前年同月の売上を割っている。かれこれ2年以上この傾向にあり、いまだ下げ止まりにならない。5月のゴールデンウィーク間の売上が、10連休のため前年の8割方であったのが響いている。
	雇用 関連 (北陸)		-	-
		-	-	
		人材派遣会社（役員）	・ 派遣登録者数が増えず、マッチングに苦慮している。	
		人材派遣会社（社員）	・ 諸々の理由により発生した離職者の穴を、条件が一致した求職者が埋める傾向が続くだけではないかと推測する。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ 雇用が増える話が出てこない。	

	新聞社 [求人広告] (担当者)	・地方都市の求人は大半を中小企業が占めるが、依然として従業員が足りていない。特にトラックドライバーや商業施設の人手不足が深刻なため、消費者への十分なサービスが困難なままである。
	職業安定所 (職員)	・労働力確保の難しさを訴える企業は引き続き多く、現状では採用計画の見直しや手控えの声は聞かれない。求人窓口の状況を見る限り、食料品製造業や医薬品、健康食品製造業、及びこれに関する印刷パッケージの製造に関連する企業が引き続き好調といえる。一方で、電子部品関連の業種においては、求人上目立った動きはないものの、一部の企業では様子見しているところもあり、今後の動きに注意していきたい。
	職業安定所 (職員)	・新規求人数、新規求職者数に多少の増減がみられるものの、まだ大きな変化はみられない。
	民間職業紹介機関 (経営者)	・消費税の引上げが近づくが、駆け込み消費は今のところまだ増えていない。模様眺めの感が強い。
	学校 [大学] (就職担当)	・米中貿易摩擦による先行き不安が報道されている。一方で国内では、時間外労働規制などの生産性低下しかもたらさないような場当たり的な政策が横行している。
x	-	-